

検証結果報告書（実績）

2020年7月27日

ネクストエネルギー・アンド・リソース株式会社

代表取締役社長 伊藤 敦 殿

（住所）東京都千代田区神田須田町1-25

JR 神田万世橋ビル

（名称）一般財団法人 日本品質保証機構

理事 浅田 純男



一般財団法人日本品質保証機構は、ネクストエネルギー・アンド・リソース株式会社が作成した「グリーンエネルギーCO2削減相当量認証申請書」（排出削減事業の名称：鶏糞・バガスを利用した発電によるCO2排出削減）について、「グリーンエネルギーCO2削減相当量認証制度運営規則」に基づいて独立の立場から検証を行った結果、別添「検証結果概要書」のとおり、全ての点において適正であると認めます。

検証結果概要書

一般財団法人日本品質保証機構

1. グリーンエネルギーCO2削減計画の概要

グリーンエネルギーCO2削減計画名	鶏糞・バガスを利用した発電によるCO2排出削減
グリーンエネルギーCO2削減計画申請者名	ネクストエナジー・アンド・リソース株式会社
事業実施場所	鹿児島県薩摩郡さつま町山崎 334-1
事業の概要	南九州バイオマス宮之城発電所
グリーンエネルギーCO2削減相当量の計画	「グリーンエネルギーCO2削減相当量配分計画」段階では保有予定者は未定で申請がされていたが、今回実績報告においては、様式3-2別紙2の配分計画（実績）のとおり
事業期間	2016年9月1日～2016年12月31日 2017年6月1日～2017年12月31日 2018年6月1日～2018年12月31日 2019年7月1日～2020年3月31日
方法論	$E_{BC} = E_{BG} - E_{BS} - E_{BA}$ $S_B = F_B \div F_T$ $E_{MB} = (E_{BS} + E_{BC}) \times S_B \times CEF_{electricity,t}$

2. 検証結果

以下に示す実施した検証手続きの概要のとおり、本申請に基づく、グリーンエネルギーCO₂削減相当量については、「グリーンエネルギーCO₂削減相当量認証制度運営規則」に定める要件及び「方法論」並びに当機構が定めた「方法論に関する追加要件」に適合しているものと判断できる。

なお、詳細については「CO₂削減相当量検証結果一覧表」に示す。

3. 実施した検証手続きの概要

<p>排出削減量の実績及びグリーンエネルギーCO₂削減相当量配分計画が示され、かつ当該内容が運営規則及び方法論に適合していること</p>	<ul style="list-style-type: none"> 排出削減量の実績は、様式3-2別紙1により確認でき、また、配分計画は、様式3-2別紙2により、排出削減相当量保有予定者及び保有予定量を確認でき、残りの実績量については配分予定なしを確認した。 排出削減量の算定において、事業開始日以降の経過年数が2.5年以上のため、方法論「3. 2 電力排出係数のデフォルト値の考え方」に基づき、移行関数 $f(t)$ は2.5年以上であること、また系統への販売電力に付随する環境価値であることから全電源平均CO₂排出係数（送電端）を用い、また、種別方法論「P003-1バイオマス発電 4. グリーンエネルギーCO₂削減相当量の算定方法」の計画に基づき算定されていることを確認し適合しているものと判断できる。
<p>認定グリーンエネルギーCO₂削減計画、グリーンエネルギーCO₂削減相当量認証申請書のとおり確実に電力量又は熱量が算定され、かつ算定された電力量又は熱量に基づき方法論に従って正確にグリーンエネルギーCO₂削減相当量が算定されていること</p>	<p>種別方法論「P003-1バイオマス発電 4. グリーンエネルギーCO₂削減相当量の算定方法」に基づき、計画申請時に提示されたモニタリング方法のとおり、申請者提出の資料により、別紙「CO₂削減相当量検証結果一覧表」のとおり算定結果を確認した。</p> <p>以上より、今回の実施期間における算定結果は、方法論に基づいて、正確にグリーンエネルギー削減相当量が算定されていると判断できる。</p>
<p>グリーンエネルギーCO₂削減相当量が適切に配分されていること</p>	<p>今回、グリーンエネルギーCO₂削減相当量の配分先は様式3-2別紙2により確認でき、適切に配分されているものと判断できる。なお、「配分予定なし」については、グリーン電力証書制度における証書販売と本計画の差異により生じるものであり、問題ないものと判断する。</p>
<p>各グリーンエネルギーCO₂削減事業が適切に管理され、モニタリング対象となる項目が正確に把握されていること</p>	<p>様式3-2グリーンエネルギーCO₂削減等計画書（実績）「2. グリーンエネルギー運営・管理計画（実績）」に基づき、様式3-2別紙1添付のとおり、計量体制が実施されていることが提出資料により確認ができ、モニタリング対象項目も提出資料により正確に把握されていることが確認できる。</p>
<p>認定グリーンエネルギー</p>	<p>今回は、認定グリーンエネルギーCO₂削減計画から変更された点は、なし。</p>

CO2削減計画から変更された点（グリーンエネルギーCO2削減事業の追加を含む。）について、運営規則及び方法論に照らし適切であること	
---	--

（添付資料）

- ・ 3. の各項目の根拠資料

【検証機関作成資料】

- ・ CO2削減相当量検証結果一覧表

【申請者作成資料】

- ・ 様式3-1、3-2、3-2別紙1、3-2別紙1添付、3-2別紙2
- ・ グリーン電力認証申請書
- ・ グリーン電力認証対象電力量報告書
- ・ 認証可能電力量の確認方法
- ・ 発電実績管理表

【発電事業者作成・提出資料】

- ・ EBG：計器写真、運転月報
- ・ EBA：運転月報
- ・ 分析試験結果報告書

CO2削減相当量検証結果一覧表

2020.7.27

申請番号	グリーンエネルギー認証				申請者	削減計画名称	発電種別	対象発電設備 CO2削減計画認定No.	実績電力量										CO2削減相当量検証												
	グリーン認証 申請番号	認証電力量	対象期間	認証シリアルNo.					発電量 認証日	発電電力量 [kWh]	売電電力量 [kWh]	補機消費電力量 [kWh]	実消費電力量				削減電力量 [kWh]		削減率		削減率		削減率		CO2削減相当 認証申請電力量 [kg]	発電年度	排出係数	CO2排出削減量	配分量	配分先	
													自家消費電力量 [kWh]	バイオマス燃料 消費量 [t]	合計燃料消費量 [t]	バイオマス比 %	削減電力量 [kWh]	削減率 %	削減電力量 [kWh]	削減率 %	削減電力量 [kWh]	削減率 %									
実16-030	16-1090	2,755,771 kWh	1609-1612	07B014-1609-1612-00000001.A09 ~ 07B014-1609-1612-02125771.A09	2017/3.7	ネオストエナ ジー	陸奥・バグスを利用した発電によるCO2排出 削減	バイオマス発電	南九州バイオマス実証地域発電 所 (16-B1-001)	4,143,200 kWh	1,379,207 kWh	1,315 kWh	2,762,678 kWh	221,119,798 GJ	221,672,866 GJ	99.75%	4,131,530 kWh	66.70%	2,763,555 kWh	919,944 kWh	877 kWh	1,842,734 kWh	147,489,072 kWh	147,857,974 kWh	99.75%	2,755,771 kWh	2016	0.356	1,532,208 kg	4,864 t	南九州エナジー・アクトブ ー・リース株式会社
実17-037	17-312	461,776 kWh	1706-1706	07B014-1706-1706-00000001.A09 ~ 07B014-1706-1706-00061776.A09	2017/11/15	ネオストエナ ジー	陸奥・バグスを利用した発電によるCO2排出 削減	バイオマス発電	南九州バイオマス実証地域発電 所 (16-B1-001)	1,087,100 kWh	424,929 kWh	0 kWh	662,174 kWh	47,263,629 GJ	47,289,958 GJ	99.94%	1,086,447 kWh	69.91%	462,173 kWh	258,839 kWh	0 kWh	403,343 kWh	28,789,195 MJ	28,805,245 MJ	99.94%	461,776 kWh	2017	0.534	353,388 kg	4,111 t	配分先
	18-047	3,477,391 kWh	1707-1711	07B014-1707-1711-00000001.A09 ~ 07B014-1707-1711-051477391.A09	2018/5.18	ネオストエナ ジー	陸奥・バグスを利用した発電によるCO2排出 削減	バイオマス発電	南九州バイオマス実証地域発電 所 (16-B1-001)	5,249,300 kWh	1,755,410 kWh	1,832 kWh	3,492,058 kWh	243,617,764 GJ	244,620,870 GJ	99.58%	5,225,428 kWh	66.55%	3,493,277 kWh	1,168,181 kWh	1,219 kWh	2,323,877 kWh	162,121,498 MJ	162,789,041 MJ	99.58%	3,477,391 kWh	2017	0.534	1,856,926 kg		
	18-048	289,319 kWh	1712-1712	07B014-1712-1712-00000001.A09 ~ 07B014-1712-1712-00098619.A09	2018/5.18	ネオストエナ ジー	陸奥・バグスを利用した発電によるCO2排出 削減	バイオマス発電	南九州バイオマス実証地域発電 所 (16-B1-001)	1,022,800 kWh	439,740 kWh	79 kWh	581,982 kWh	56,302,376 GJ	57,225,475 GJ	98.03%	1,002,574 kWh	57.88%	292,026 kWh	249,324 kWh	45 kWh	342,657 kWh	32,473,687 MJ	33,123,770 MJ	98.03%	289,319 kWh	2017	0.534	309,890 kg		
実18-032	18-202	686,384 kWh	1806-1806	07B014-1806-1806-00000001.A09 ~ 07B014-1806-1806-00000003.A09	2018/12/14	ネオストエナ ジー	陸奥・バグスを利用した発電によるCO2排出 削減	バイオマス発電	南九州バイオマス実証地域発電 所 (16-B1-001)	1,008,200 kWh	317,963 kWh	126 kWh	690,111 kWh	47,120,329 MJ	47,379,852 MJ	99.40%	1,002,630 kWh	68.40%	690,197 kWh	217,672 kWh	86 kWh	472,439 kWh	32,281,869 MJ	32,435,466 MJ	99.46%	686,384 kWh	2018	0.518	355,546 kg		
	18-204	3,522,284 kWh	1807-1811	07B014-1807-1811-00000001.A09 ~ 07B014-1807-1811-03222284.A09	2019/3.15	ネオストエナ ジー	陸奥・バグスを利用した発電によるCO2排出 削減	バイオマス発電	南九州バイオマス実証地域発電 所 (16-B1-001)	5,123,600 kWh	1,590,085 kWh	730 kWh	3,526,785 kWh	246,346,731 MJ	248,745,000 MJ	99.03%	5,102,887 kWh	69.03%	3,557,288 kWh	1,101,702 kWh	503 kWh	2,455,983 kWh	170,041,615 kWh	171,497,028 kWh	99.03%	3,522,284 kWh	2018	0.518	1,824,543 kg		
	18-205	100,000 kWh	1812-1812	07B014-1812-1812-00000001.A09 ~ 07B014-1812-1812-00100000.A09	2019/3.15	ネオストエナ ジー	陸奥・バグスを利用した発電によるCO2排出 削減	バイオマス発電	南九州バイオマス実証地域発電 所 (16-B1-001)	993,700 kWh	410,234 kWh	1,517 kWh	581,949 kWh	55,082,074 MJ	56,597,045 MJ	96.64%	958,845 kWh	58.05%	582,838 kWh	249,616 kWh	889 kWh	341,333 kWh	32,307,498 kWh	33,430,683 kWh	96.64%	100,000 kWh	2018	0.518	291,320 kg		
	20-004	462,395 kWh	1812-1812	07B014-1812-1812-00100001.A09 ~ 07B014-1812-1812-00062935.A09	2020/7.8	ネオストエナ ジー	陸奥・バグスを利用した発電によるCO2排出 削減	バイオマス発電	南九州バイオマス実証地域発電 所 (16-B1-001)	8,705,140 kWh	3,068,327 kWh	29,447 kWh	5,607,365 kWh	371,074,345 MJ	375,875,593 MJ	98.72%	8,564,644 kWh	64.63%	5,626,397 kWh	1,983,153 kWh	19,632 kWh	3,624,212 kWh	239,836,682 kWh	242,939,875 kWh	98.72%	462,395 kWh	2019	0.497	2,751,188 kg		
実19-014	20-205	5,535,591 kWh	1907-2003	07B014-1907-2003-00000001.A09 ~ 07B014-1907-2003-05233591.A09	2020/7.8	ネオストエナ ジー	陸奥・バグスを利用した発電によるCO2排出 削減	バイオマス発電	南九州バイオマス実証地域発電 所 (16-B1-001)	8,705,140 kWh	3,068,327 kWh	29,447 kWh	5,607,365 kWh	371,074,345 MJ	375,875,593 MJ	98.72%	8,564,644 kWh	64.63%	5,626,397 kWh	1,983,153 kWh	19,632 kWh	3,624,212 kWh	239,836,682 kWh	242,939,875 kWh	98.72%	5,535,591 kWh	2019	0.497	2,751,188 kg		

注：環境価値の保有者確保のため、既に環境価値の保有者が決定済みであり、グリーン証書を発行している認証電力量・認証熱量を上乗せとする。第19回認証委員会、参考資料(2)参照

グリーンエネルギーCO₂削減等計画書（実績）1 グリーンエネルギーCO₂削減計画（実績）1. 1 グリーンエネルギーCO₂削減計画の名称

バイオマス発電によるグリーン電力を使用した CO₂ 削減計画

1. 2 グリーンエネルギーCO₂削減計画に関わる設備（詳細）

別紙 1 「本計画におけるグリーンエネルギーCO₂削減事業リスト（実績）」 1. 参照。

1. 3 グリーンエネルギーCO₂削減計画に適用される方法論

注 1) 本計画に適用される方法論にチェックすること。

チェック	種別方法論 番号	種別方法論名称
<input type="checkbox"/>	P001	風力発電
<input type="checkbox"/>	P002	太陽光発電
<input checked="" type="checkbox"/>	P003-1	バイオマス発電（鶏糞、バガス等）
<input type="checkbox"/>	P003-2	バイオガス発電
<input type="checkbox"/>	P003-3	木質バイオマス発電
<input type="checkbox"/>	P004-1	河川に設置する新設水力発電
<input type="checkbox"/>	P004-2	既設設備等に付加して設置される水力発電
<input type="checkbox"/>	P005	地熱発電
<input type="checkbox"/>	H001-1	太陽熱（強制循環式給湯用ソーラーシステム（単独供給方式））
<input type="checkbox"/>	H001-2	太陽熱（強制循環式給湯用ソーラーシステム（複数供給方式））
<input type="checkbox"/>	H001-3	太陽熱（太陽熱利用セントラルシステム（給湯・暖房））
<input type="checkbox"/>	H002-1	バイオマス熱（木質バイオマス熱利用システム）
<input type="checkbox"/>	H002-2	バイオマス熱（木質バイオマス蒸気供給施設（熱電供給システム））
<input type="checkbox"/>	H003	雪氷エネルギー（熱交換冷水循環式雪氷エネルギー施設）

1. 4 グリーンエネルギーCO₂削減相当量の算定

注 1) 「グリーン電力種別方法論」又は「グリーン熱種別方法論」の 4. グリーンエネルギーCO₂削減相当量の算定方法を記載すること。

注 2) 各グリーンエネルギーCO₂削減事業の個別の値（実績）については別紙 1 「本計画におけるグリーンエネルギーCO₂削減事業リスト（実績）」 3. 参照。

$$E_{BC} = E_{BG} - E_{BS} - E_{BA}$$

$$S_B = F_B \div F_T$$

$$E_{MB} = (E_{BS} + E_{BC}) \times S_B \times CEF_{\text{electricity,t}}$$

記号	定義	単位
EBS	バイオマス発電実施期間における系統への販売電力量	kWh
EBC	バイオマス発電実施期間における自家消費電力量	kWh
EBG	バイオマス発電実施期間における発電電力量	kWh
EBA	バイオマス発電実施期間における発電補機消費電力量	kWh
S _B	投入燃料に占めるバイオマス比率	%
F _B	発電に使用したバイオマス燃料	MJ
F _T	発電に使用した燃料合計	MJ
E _{MB}	バイオマス発電実施期間における排出削減量	kgCO ₂
CE _F ^{Electricity,t}	バイオマス発電実施期間における電力の二酸化炭素排出係数	kgCO ₂ /kWh

1. 5 グリーンエネルギーCO₂削減計画の認証申請期間

開始日 2016年9月1日	終了日 2016年12月31日
開始日 2017年6月1日	終了日 2017年6月30日
開始日 2017年7月1日	終了日 2017年11月30日
開始日 2017年12月1日	終了日 2017年12月31日
開始日 2018年6月1日	終了日 2018年6月30日
開始日 2018年7月1日	終了日 2018年11月30日
開始日 2018年12月1日	終了日 2018年12月31日
開始日 2019年7月1日	終了日 2020年3月31日

注) 各グリーンエネルギーCO₂削減事業の実施期間については、別紙1「本計画におけるグリーンエネルギーCO₂削減事業リスト（実績）」5. に記載すること。

1. 6 認定グリーンエネルギーCO₂削減計画からの変更項目

注) 変更申請書を提出済の場合は、変更申請書提出後に変更した項目について記載すること。
なし

2 グリーンエネルギー運営・管理計画（実績）

2. 1 各グリーンエネルギーCO₂削減事業の実施者によるモニタリング方法及び報告方法

注1) 各グリーンエネルギーCO₂削減事業の実施者におけるモニタリング方法、及び当該実施者から運営・管理者への報告方法（体制）を記載すること。

注2) 各グリーンエネルギーCO₂削減事業のモニタリング責任者及び実施者については別紙1「本計画におけるグリーンエネルギーCO₂削減事業リスト」4. 参照。

注3) 認定グリーンエネルギーCO₂削減計画から変更された点がある場合はその旨記載すること。なお、変更申請書を提出済の場合は、変更申請書提出後に変更した項目について記載すること。

(1) グリーンエネルギーCO₂削減事業実施者（発電事業者）

【1】 毎月末または毎四半期末において、モニタリング実施者およびモニタリング責任者にて、日報・月報・メーター写真・検針票・その他関連資料など、グリーン電力発電電力量を算出するため

に必要となる資料を作成する。

- 【2】 毎月初めまたは毎四半期初めにおいて、メール・FAX・郵送などにより、グリーンエネルギーCO2削減事業実施者より運営・管理者へ報告する。

(2) 運営・管理者（証書発行事業者：ネクストエナジー・アンド・リソース（株））

- 【1】 グリーンエネルギーCO2削減事業実施者から受領したデータをもとに、各四半期のグリーン電力発電電力量を算出する。
- 【2】 算出したグリーン電力発電電力量について、検証機関による検証終了後、グリーンエネルギーCO2削減相当量認証委員会事務局へ報告する。

なお、グリーン電力発電電力量の計量体制を様式3-2別紙添付に示す。

2.2 モニタリングの対象及び方法

注1)「グリーン電力種別方法論」又は「グリーン熱種別方法論」の5.算定根拠に係るモニタリング方法に掲げられている記号と、それに係る定義、単位、モニタリング方法を記載すること。

記号	定義	単位	モニタリング方法
E _{BS}	バイオマス発電実施期間における系統への販売電力量	kWh	検定済み電力計による計測、RPS 減量届出書
E _{BG}	バイオマス発電実施期間におけるバイオマス発電発電電力量	kWh	検定済電力量計による計測
E _{BA}	バイオマス発電実施期間におけるバイオマス発電補機消費電力量	kWh	電力計による計測又は補機容量に稼働時間を乗じた値
F _B	発電に使用したバイオマス	MJ	燃料計による計測又は燃料供給会社からの請求書をもとに算定
F _T	発電に使用した燃料合計	MJ	燃料計による計測又は燃料供給会社からの請求書をもとに算定
CE _{Electricity,t}	バイオマス発電実施期間における電力の二酸化炭素排出係数	kgCO ₂ /kWh	<p>デフォルト値を利用</p> <p>平成16年運転開始のため$2.5年 \leq t$となり、$f(t)=1$となる。従って、</p> $CE_{Electricity,t} = C_{mo} \cdot (1-f(t)) + C_a(t) \cdot f(t)$ $= C_{mo} \cdot (1-1) + C_a(t) \cdot 1$ $= C_a(t)$ <p>ここで、</p> <p>t:事業開始日以降の経過年</p> <p>C_{mo}: 限界電源二酸化炭素排出係数</p> <p>C_a(t): t年に対応する全電源二酸化炭素排出係数</p> <p>f(t): 移行関数</p> $f(t) = \begin{cases} 0 & [0 \leq t < 1年] \\ 0.5 & [1年 \leq t < 2.5年] \end{cases}$

			1 [2.5年≦t]
--	--	--	------------

3 グリーンエネルギーCO₂削減相当量配分計画（実績）

3. 1 グリーンエネルギーCO₂削減相当量保有予定者に関する情報

別紙2「グリーンエネルギーCO₂削減相当量配分計画（実績）」1. 参照。

3. 2 環境価値が除かれた電気価値・熱価値の帰属先に関する情報

別紙2「グリーンエネルギーCO₂削減相当量配分計画（実績）」2. 参照。

			洋環境分析センターによる報告)のコピー
F _T	MJ	<p>F_Bのバイオマス燃料の値と A 重油の値を和して算定</p> <p>※A 重油の値=機械的にプリントアウトされた書類における A 重油投入量に A 重油発熱量 (各年度定数) を乗じた値 (A 重油を助燃剤として使用しない場合は算出なし)</p>	<p><A 重油投入量></p> <p>「DCS 運転記録」のコピー</p> <p><A 重油発熱量></p> <p>各年度版の「エネルギー・経済統計要覧」により算出。</p>

以上

No	1. 事業所に関する情報					2. 追加性に関する情報 該当する追加性要件 (a)当該設備の建設における主要な要素 (b)当該設備のグリーン電力の維持に貢献 (c)当該設備以外のグリーン電力の拡大に貢献	3. グリーンエネルギーCO2削減相当量の算定に関する情報									4. モニタリング責任者及び実施者に関する情報		5. 認証申請期間	
	1.1 発電所名称	1.2 発電所所在地	1.3 型式	1.4 設備容量	1.5 運転開始(予定) 年月日		3.1 発電電力量 EBG(kWh)	3.2 販売電力量 EBS(kWh)	3.3 補機消費 電力量 EBA(kWh)	3.4 自家消費 電力量 EBC(kWh)	3.5 バイオマス 燃料 FB(MJ)	3.6 燃料合計 FT(MJ)	3.7 バイオマ ス 比率 SB(%)	3.8 二酸化炭素 排出係数 CEFelectricity,t (kgCO2/kWh)	3.9 排出削減量 EMB (kgCO2)	4.1 モニタリング責任者	4.2 モニタリング実施者	5.1 開始日	5.2 終了予定日
1	南九州バイオマス宮之城発	鹿児島県薩摩郡さつま町山崎334	N-900F型鶏糞燃料炊流動層ボイラ	1,950kW	平成18年5月	(b)当該設備のグリーン電力の維持に貢献	4,143,200	1,379,207	1,315	2,762,678	221119797.719	#####	0.9975	0.556	1,532,208			2016年9月1日	2016年12月31日
2	南九州バイオマス宮之城発	鹿児島県薩摩郡さつま町山崎334	N-900F型鶏糞燃料炊流動層ボイラ	1,950kW	平成18年5月	(b)当該設備のグリーン電力の維持に貢献	1,087,100	424,926	0	662,174	47263629.213	#####	0.9994	0.534	353,388			2017年6月1日	2017年6月30日
3	南九州バイオマス宮之城発	鹿児島県薩摩郡さつま町山崎334	N-900F型鶏糞燃料炊流動層ボイラ	1,950kW	平成18年5月	(b)当該設備のグリーン電力の維持に貢献	5,249,300	1,755,410	1,832	3,492,058	243617763.941	#####	0.9958	0.534	1,856,926			2017年7月1日	2017年11月30日
4	南九州バイオマス宮之城発	鹿児島県薩摩郡さつま町山崎334	N-900F型鶏糞燃料炊流動層ボイラ	1,950kW	平成18年5月	(b)当該設備のグリーン電力の維持に貢献	1,022,800	430,740	78	591,982	56102375.971	#####	0.9803	0.534	309,890			2017年12月1日	2017年12月31日
5	南九州バイオマス宮之城発	鹿児島県薩摩郡さつま町山崎334	N-900F型鶏糞燃料炊流動層ボイラ	1,950kW	平成18年5月	(b)当該設備のグリーン電力の維持に貢献	1,008,200	317,963	126	690,111	47126329.499	#####	0.9946	0.518	355,547			2018年6月1日	2018年6月30日
6	南九州バイオマス宮之城発	鹿児島県薩摩郡さつま町山崎334	N-900F型鶏糞燃料炊流動層ボイラ	1,950kW	平成18年5月	(b)当該設備のグリーン電力の維持に貢献	5,153,600	1,596,085	730	3,556,785	246346731.107	#####	0.9903	0.518	1,824,543			2018年7月1日	2018年11月30日
7	南九州バイオマス宮之城発	鹿児島県薩摩郡さつま町山崎334	N-900F型鶏糞燃料炊流動層ボイラ	1,950kW	平成18年5月	(b)当該設備のグリーン電力の維持に貢献	993,700	410,234	1,517	581,949	55082073.947	#####	0.9664	0.518	291,320			2018年12月1日	2018年12月31日
8	南九州バイオマス宮之城発	鹿児島県薩摩郡さつま町山崎334	N-900F型鶏糞燃料炊流動層ボイラ	1,950kW	平成18年5月	(b)当該設備のグリーン電力の維持に貢献	8,705,140	3,068,327	29,447	5,607,366	371074344.567	#####	0.9872	0.497	2,751,189			2019年7月1日	2020年3月31日
							27,363,040	9,382,892	35,045	17,945,103	1,287,733,046	1,299,806,680			9,275,011				
														kgCO2→tCO2	9.275				

3.1 発電電力量 EBG(kWh)	3.2 販売電力量 EBS(kWh)	3.3 補機消費 電力量 EBA(kWh)	3.4 自家消費 電力量 EBC(kWh)	3.5 バイオマス燃料 FB(MJ)	3.6 燃料合計 FT(MJ)	3.7 バイオマ ス 比率 SB(%)	3.8 二酸化炭素 排出係数 CEFelectricity,t (kgCO2/kWh)	3.9 排出削減量 EMB (kgCO2)	環境価値が除かれた 電力の相当量
4,143,200	1,379,207	1,315	2,762,678	221,119,798	221,672,866	0.9975	0.556	1,532,208	2,755,771
1,087,100	424,926	0	662,174	47,263,629	47,289,978	0.9994	0.534	353,388	661,776
5,249,300	1,755,410	1,832	3,492,058	243,617,764	244,620,870	0.9958	0.534	1,856,926	3,477,391
1,022,800	430,740	78	591,982	56,102,376	57,225,475	0.9803	0.534	309,890	580,319
1,008,200	317,963	126	690,111	47,126,329	47,379,852	0.9946	0.518	355,547	686,384
5,153,600	1,596,085	730	3,556,785	246,346,731	248,745,000	0.9903	0.518	1,824,543	3,522,284
993,700	410,234	1,517	581,949	55,082,074	56,997,045	0.9664	0.518	291,320	562,395
8,705,140	3,068,327	29,447	5,607,366	371,074,345	375,875,593	0.9872	0.497	2,751,189	5,535,591
									17,781,911

